

栃教研連

# 会報

平成25年3月22日  
栃木県教育研究所連絡協議会

事務局 〒320-0002 栃木県宇都宮市瓦谷町1,070番地

電話 028-665-7204

FAX 028-665-7303

会報第42号

## 発行に寄せて

会長 金井 正  
(栃木県総合教育センター所長)

甚大な被害をもたらした東日本大震災から2年が経過しました。児童生徒の心のケアが重視される中、いじめに関する問題が取り上げられる等、子どもたちの心の教育が重要な課題の一つとなっております。こうした中、各教育研究所においても、児童生徒に「生きる力」を育むために、調査研究や研修、学校支援等に積極的に取り組まれていることと存じます。

さて、1月25日(金)26日(土)に、平成24年度栃木県教育研究発表大会が開催され、「心の教育部会」や「学校経営部会」等の19部会において、教育実践や研究成果の発表及び参加者による活発な意見交換が行われました。大会参加者数は延べ1,134人を数えました。今後とも、本大会が教育関係者にとって重要な情報発信及び意見交換の場であるよう、主催団体の一つとして尽力していきたく思います。

本県教育の振興のためには、加盟各機関が研究成果を積極的に発信し、情報の共有化を図り、研究成果を県内に敷衍させることが重要と考えます。本会報をその一助として役立てていただければ幸いです。

### 平成24年度栃木県教育研究所加盟機関連絡先等

栃木県総合教育センター	TEL 028-665-7204	<a href="http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/">http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/</a>
栃木県連合教育会	TEL 028-621-7216	<a href="http://www.t-rk.jp/trk/">http://www.t-rk.jp/trk/</a>
宇都宮市教育センター	TEL 028-639-4382	<a href="http://www.ueis.ed.jp/">http://www.ueis.ed.jp/</a>
上三川町教育研究所	TEL 0285-56-9155	<a href="http://www.kaminokawa-tcg.ed.jp/">http://www.kaminokawa-tcg.ed.jp/</a>
鹿沼市総合教育研究所	TEL 0289-63-2236	<a href="http://www.city.kanuma.tochigi.jp/9,2543,140.html">http://www.city.kanuma.tochigi.jp/9,2543,140.html</a>
下野市教育研究所	TEL 0285-52-1118	<a href="http://www.school.shimotsuke.ed.jp/">http://www.school.shimotsuke.ed.jp/</a>
小山市立教育研究所	TEL 0285-21-0200	<a href="http://www.oyama-tcg.ed.jp/">http://www.oyama-tcg.ed.jp/</a>
栃木市教育研究所	TEL 0282-21-2177	<a href="http://tochigil.tcn.ed.jp/tochigi/">http://tochigil.tcn.ed.jp/tochigi/</a>
矢板市教育研究所	TEL 0287-43-6217	<a href="http://www.city.yaita.tochigi.jp/">http://www.city.yaita.tochigi.jp/</a>
佐野市教育センター	TEL 0283-61-1176	<a href="http://www.schoolnet-sano.ed.jp/kyoiku-c/">http://www.schoolnet-sano.ed.jp/kyoiku-c/</a>
足利市立教育研究所	TEL 0284-43-1177	<a href="http://kyoiku.ashi-s.ed.jp/">http://kyoiku.ashi-s.ed.jp/</a>

# 教育研究所だより (事業概要)

## 1 センター全体の事業

### (1) センター開放事業「学びの杜の夏休み」

7月14日(土)に、子どもたちに豊かな体験(学習)活動を提供するとともにボランティア団体等に活動の場を提供することを主な目的として、31の活動プログラムを実施した。1,125人の参加者及び215人のボランティアの協力があり、充実した活動となった。

### (2) 総合教育センター設立20周年記念事業

総合教育センターが開所して20周年を記念して、10月20日(土)に記念事業が開催された。

平成24年度は、当センターの前進である栃木県理科教育センターの設立50周年、幼児教育部(幼児教育センター)の設立10周年に当たる。

「とちぎの教育を未来に繋ぐ」をテーマとして公開シンポジウムや記念式典、宮大工の小川三夫氏を講師に迎えた記念講演会が開催された。

### (3) 栃木県教育研究発表大会

1月25日(金)・26日(土)の両日、総合教育センターを会場に第13回大会が行われた。延べ1,134名の教員や教育関係者等が参加し、盛会のうちに終了した。

## 2 各部の事業

### (1) 生涯学習部

平成24年度は、13講座の研修を実施し、生涯学習推進指導者の養成、県市町関係職員の資質向上に努めた。また、生涯学習・社会教育の実情に基づき調査研究を行い、生涯学習・社会教育に係る課題等の明確化を図るとともに、支援方法等の改善充実を努めた。とちぎ県民カレッジでは、新たに「防災学習推進事業」を行うなど学習機会を提供した。

栃木県学習情報提供システム「とちぎレインボーネット」、栃木県生涯学習ボランティア活動支援情報システム「とちぎかがやきネット」による学習相談・情報提供にも引き続き努めている。

平成25年度も、家庭と地域の教育力の向上等に対応した研修内容の充実、学習機会の提供、調査研究等を通して、生涯学習社会の形成に寄与していく。

### (2) 研修部

平成24年度は、管理職としての資質・能力の向上を目指し、学校組織マネジメント能力の向上と、校内実践とセンターにおける研修の連携をポイントとして、高等学校、特別支援学校の「新任教頭研修」を再編し、4日間の研修を実施した。また、教諭、養護教諭に続き、計画的かつ継続的な自主研修を奨励する「学校栄養職員2～5年目研修」を開設した。

平成25年度は、高等学校、特別支援学校の

「新任教頭研修」に続き、「教頭2年目研修」を開設する。従来の「学校経営研修」を改編し、「新任教頭研修」との継続性を重視し、実施する。また、教科の希望研修の見直しを図り、すべての校種、すべての教科の研修を設定し、専門性の向上と授業力の向上を図るために「教科等専門研修」として開設する。さらに、高等学校新学習指導要領に対応し、英語を使って効果的な授業を実践するためのスキルを身に付け、授業力・指導力を高めるために「英語授業力向上研修」を開設する。

### (3) 研究調査部

平成24年度は、「とちぎの子どもの基礎・基本」習得状況調査、各種教育統計調査などを実施し、結果を公表した。また「栃木の子どもの自己有用感調査」と「学校のICT活用状況調査」を実施し、それぞれ報告書にまとめた。「栃木の『学校力』の向上」の2年間の研究成果と実践事例を参考資料としてまとめ、「確かな学力を育成するための学習指導の在り方」では、リーフレット「授業のデザイン」を作成した。

平成25年度は、学業指導に関する調査研究と生活状況調査、情報モラルの育成に関する質問紙調査等を実施する予定である。

### (4) 教育相談部

平成24年度は新規の教育相談指導者養成研修(高)をはじめ、教育相談研修及び特別支援教育研修を22講座実施した。また、特別支援学校の自立活動の指導及び小学校における通級指導教室と連携した指導に関して調査研究資料をまとめ、配布した。さらに、校内支援体制の構築に関する参考資料を作成し、配布した。教育相談事業では来所相談のほかに、各学校等が実施する研修会及び事例研究会に指導主事を派遣し、児童生徒の学校生活を支援した。

平成25年度は、引き続き研修及び教育相談の充実を図るほか、調査研究として高等特別支援学校における教育課程の開発、特別支援学級担任用ハンドブックの作成等に取り組み、その成果を資料にまとめ発信する。

### (5) 幼児教育部 (幼児教育センター)

平成24年度は、「体づくり」をテーマとし、幼・保・小連携の推進を中心に、教育・保育の質の向上、情報の提供、調査研究の4つの柱で事業を展開した。

具体的には、合同研修(幼・保・小)や相互職場体験研修、幼稚園・保育所等パワーアップセミナー等により、教職員の専門性を高めたり、園経営の充実を図ったりした。また、幼児教育情報誌「おうち」を発行し、保護者に幼児教育に関する情報を提供するとともに、幼児期から児童期において大切にしたい遊びや体の動きをまとめた指導資料(リーフレット)を作成・配布した。

平成25年度は、「一人一人に応じた指導の充実」をテーマに、各種事業を実施する。



当会の研究部及び相談部では、教育に関する調査研究、教育相談とカウンセラー養成研修、研究紀要の発行等の事業を実施している。

## 平成24年度の事業

### 1 調査研究事業

#### (1) 言語力育成研究部会

テーマ「言語力育成のためのカリキュラム・デザインに関する理論的、実践的研究」～授業等の実施状況調査～のもと、幼・小・中・高における言語活動実施状況の調査準備を行った。

#### (2) 特別支援教育研究部会

テーマ「発達障がい児のいる学級における授業づくり」～小学校を中心として～のもと、指導資料作成に向けて研究を進めた。

### 2 教育相談部の教育相談、研修講座

HRTや小・中・高校生、保護者を対象とした面接相談を行った。また、カウンセリング研修講座を実施した。

### 3 実践研究奨励援助事業

会員の研究意欲を高め、研究活動を一層活発にするために、会員の教育実践研究を援助した。

グループ研究 28件  
個人研究 5件

### 4 栃木県特別支援教育連絡協議会研修会の共催

期日 平成24年8月17日（金）  
会場 栃木県教育会館 大ホール

## 平成25年度の事業

### 1 調査研究事業

#### (1) 言語力育成研究部会

テーマ「言語力育成のためのカリキュラム・デザインに関する理論的、実践的研究」～授業等の実施状況調査～のもと、幼・小・中・高における言語活動実施状況の調査を行い研究紀要を刊行する。

#### (2) 特別支援教育研究部会

テーマ「発達障がい児のいる学級における授業づくり」～小学校を中心として～のもと、指導資料作成に向けて研究を進め研究紀要を刊行する。

### 2 教育相談部の教育相談、研修講座

HRTや小・中・高校生、保護者を対象とした面接相談を行う。また、カウンセリング研修講座を実施する。

- ・個人面接の技法
- ・発達障がいセミナー
- ・カウンセリング入門

### 3 実践研究奨励援助事業

会員の研究意欲を高め、研究活動を一層活発にするために、会員の教育実践研究を援助する。

募集予定

グループ研究 30件  
研究奨励費 50,000円／1件  
個人研究 10件  
研究奨励費 30,000円／1件

### 4 栃木県特別支援教育連絡協議会研修会の共催

期日 平成25年8月中旬  
会場 栃木県教育会館 大ホール

づき、本市の学校教育の現状と課題を踏まえた基本研修及び専門研修を合計59講座実施

## 平成24年度の事業

### 1 相談事業

- (1) 教育相談事業
  - ① 来所相談、訪問相談
  - ② 臨床心理士による相談
  - ③ 医師（精神科医・小児科医）による相談
  - ④ 就学指導委員会の開催
- (2) 適応支援事業
  - ① とらいあんぐる、つげの木教室  
不登校児童生徒の学校復帰に向けた小集団活動を中心とした支援
  - ② まちかどの学校  
不登校児童生徒の心の安定と社会的自立に向けた個別活動を中心とした支援
  - ③ かすたネット  
発達障がい等のある小学生の社会的スキルの定着に向けた小集団での学習
- (3) 学校生活支援事業
  - ① 全25中学校と、小学校へ6名のスクールカウンセラー（SC）の派遣  
専門的な見立てに基づく教員へのコンサルテーション等
  - ② メンタルサポーターの全中学校への派遣  
生徒の気軽な話し相手、相談相手等
  - ③ かがやきルーム指導員の配置（84名）  
学習や生活に困難さのある児童生徒への個別や小集団での指導の実施等
  - ④ 要配慮学級対応指導助手や、認定就学対応指導助手の配置（27名）
  - ⑤ 生活補助員や特別支援教育支援員、要配慮学級緊急対応職員の配置（33名）
  - ⑥ 専門家チームによる巡回相談の実施  
医師・臨床心理士・特別支援学校・小中学校教員・センター職員等による、継続的な巡回相談
- (4) 児童・生徒の実態調査
  - ① 不登校に係る実態
  - ② 「Q-U」（小3～中3全学級対象）  
（小5、中2は年2回実施）

### 2 教職員研修事業

「宇都宮市教職員人材育成システム」に基

### 3 情報教育事業

- (1) 情報活用推進事業
  - ① 情報教育の推進
  - ② 情報モラル教育の充実
  - ③ ICT活用による授業力向上
  - ④ WEBカリキュラムセンター（授業実践例の登録・デジタル教材の公開等）
  - ⑤ 地域素材のデジタル教材化
  - ⑥ 学校ホームページ公開・支援
- (2) システム管理運用事業
  - ① 教育センターネットワークシステム運用管理
  - ② 教育センターサーバ運用管理、更新
  - ③ 教育情報システム運用管理
  - ④ 情報セキュリティ対策
  - ⑤ 教員用パソコン導入更新

### 4 調査研究事業

- (1) 今日的教育課題に関する調査研究
  - ① 「お弁当の日」の指導資料の作成に関する調査研究
  - ② 「特別支援学級用小中一貫カリキュラム」に関する調査研究
- (2) 校内研修サポート事業  
授業を開き合うことを通して、同僚性の構築・学校力の向上を目指す校内研修に、大学教員を年間4回程度派遣  
※平成24年度は小学校3校、中学校1校で実施

### 5 その他

- (1) 教育センター公開講座
  - ① 市民への啓発を視野に入れたテーマで年1回、土曜日に実施
  - ② 教職員の自主的・主体的な研修を促すため、平日夜間に公開講座『教育なう』を年2回実施
- (2) 各種資料の発行  
「センターだより」をはじめ、特別支援教育・不登校・研修・情報教育に関する啓発資料を発行



## 平成24年度の事業

### 1 研修事業 ※主なもの

- (1) 学校図書館主任研修  
講師に図書館・メディア研究所代表の小畑先生をお招きし、図書主任・学校司書・各校の図書ボランティアを集め、「学校(図書館)ボランティア養成講座」を実施。図書ボランティアの方々が多く参加し、ボランティアとしての係わり方について理解を深めた。
- (2) 小中教科連携研修  
小中学校の教職員による中学校区での教科ごとの相互に授業参観・研究協議を実施。24年度は4教科(算数・数学、理科、図工・美術、家庭)実施。(各研修実施回数はこのべ20回)
- (3) ミドルリーダー研修  
学校の中核を担う中堅教員を対象に、学校教育等に対する新しい課題、教員としての資質向上に向けた研修を実施。また、夏休み期間に町バスを利用し、喜連川社会復帰センター等を視察訪問した。
- (4) 不登校対応研修  
不登校児童生徒の増加に対し、適応指導教室と連携を図り、情報交換を行うとともに、成功事例から現在の不登校児童生徒への対応について研修を実施。
- (5) 各種(学習、教務等)主任研修  
宇都宮大学の出張講座や県庁の出前講座を活用し、大学教授等による講演研修を実施。

### 2 調査研究事業 ※主なもの

- (1) 学級運営等改善事業に係わる検討研修  
配慮を要する児童生徒への個別の支援を一層推進するため、県内3市町の状況を視察研修。  
25年度の実施に向けた体制について、課題点等を協議。

### 3 相談事業 ※主なもの

- (1) 教育相談員(3名)による相談  
就学指導に係わる就学児面接相談の実施。
- (2) 町カウンセラーの町内小学校配置
- (3) 町スクールサポーターの設置  
不登校児童生徒及び反社会的行動をとる児童生徒への対応に向け町内全校を巡回訪問。

### 4 その他 ※主なもの

- (1) 町福祉部局との連携  
母子健康係が実施している、就学前の年中児・年長児の発達相談や子育て支援センターで行っている支援教育に参加。

## 平成25年度の事業

### 1 研修事業

- 研修による教師の負担増にならないよう勘案しながら、次の研修を内容を拡充して実施する。
- (1) 巡回相談研修  
配慮を要する児童生徒への個別の指導計画作成についての研修を学校数を拡充して実施。
  - (2) 個別支援教室指導員研修  
新たに設置する個別支援教室の指導員の技能を高めるための研修を実施。
  - (3) 町採用非常勤講師研修  
配慮を要する児童生徒の理解や、個別の支援に係わる指導技術を高めるために、研修回数や内容を充実して実施。

### 2 調査研究事業

- 町内各校の先生から、教科ごとに研究調査員を選出し、町独自の児童生徒の学力向上に向け、町内児童生徒の実態を調査し、リーフレット等を作成する。

## 平成 24 年度の事業

### 1 調査研究事業

#### (1) 調査研究事業の目的

時代の要請に応じた様々な教育課題についての調査研究を行い、学校・家庭・地域（市民）及び関係各機関と連携して、鹿沼市の教育を総合的に推進する。

#### (2) 調査研究内容について

学校教育に偏ることなく、社会教育や各課横断的取組を要する事業を研究内容とする。

- ① 子ども・若者自立支援サポート事業
- ② 「心を育てる学校教育」推進事業
- ③ 保護者や関係機関とともにすすめる幼・保・小・中連携事業
- ④ 「地域教育資源の整備」の視点から「地域資源を生かした学習の推進」の具現化について
- ⑤ 「特色ある学校づくり」の推進
- ⑥ 人権教育の推進
- ⑦ 情報教育の推進（ICTの推進）
- ⑧ 食育の推進
- ⑨ 子どもの読書活動の推進
- ⑩ 学力の実態把握（学力テスト等）

### 2 教育相談事業

#### (1) 教育相談室による教育相談事業（予約制）

- ① 来所、訪問、電話による相談
- ② 児童生徒、保護者、教員対象の相談
- ③ 就学相談、不登校・いじめ等の教育相談、子どもの発達に関する相談など

#### (2) 適応指導教室「ニューホープ」「アメニティホーム」による教育相談事業

- ① 学習活動、創作活動、勤労奉仕活動
- ② 学校との連携による「チャレンジ登校」
- ③ 宿泊活動
- ④ スポーツ活動
- ⑤ 学生による活動支援（8月、2月）

#### (3) 不登校対策ネットワーク事業

- ① 教育相談専門員の配置
- ② 不登校生徒の早期発見・早期対応
- ③ 教育相談室や適応指導教室との連携

### 3 研修事業

#### (1) 教職員の資質向上のための研修

- ① 児童・生徒指導担当者研修会
- ② 不登校対策ネットワーク研修会
- ③ 情報教育研修会
- ④ 特別支援教育研修会
- ⑤ 人権教育研修会
- ⑥ 学級経営研修会
- ⑦ Q-Uステップアップ研修会
- ⑧ 小学校外国語活動研修会
- ⑨ 学習指導主任研修会
- ⑩ 道徳教育研修会
- ⑪ 新規採用教職員研修
- ⑫ 図書館支援員研修会

#### (2) 家庭・地域の教育力向上のための研修

- ① 就学前の子どもをもつ若い親への研修
- ② 児童生徒をもつ親への研修
- ③ 出前講座による研修

### 4 教育に関する資料等の作成・収集

- ・ 鹿沼市教育ビジョン「特色ある学校づくり」実践報告書の作成
- ・ 社会科副読本「わたしたちの鹿沼市」の作成
- ・ 人権教育副読本「なかま」（小学校）「仲間」（中学校）の作成
- ・ 地域学習教材の作成
- ・ 研究学校紀要等情報収集

## 平成 25 年度の事業

平成 24 年度は、鹿沼市第 6 次総合計画、及び、鹿沼市教育ビジョンに則って、鹿沼市の教育を総合的に推進するため、時代の要請に応じた様々な教育課題についての調査研究を行ってきた。平成 25 年度においても、継続的に調査研究をすると共に、新規の研究事業についても検討して実施していきたい。

また、教育相談事業、研修事業、教育情報収集・提供においても、今年度の課題を踏まえた上で、継続して推進していきたい。



## 平成24年度の事業

### 1 調査研究事業

- (1) 学力向上調査研究
- (2) 教科研究
- (3) 小学校社会科副読本の活用研究
- (4) 小中英語教育推進研究
- (5) 長期欠席調査
- (6) 小中連携教育研究
- (7) 情報教育研究

### 2 研修事業

- (1) 一般研修(教職員全体研修会)
  - ① 教育行政説明会(4月6日)
  - ② 合同全体研修会(8月6日)
    - ・教育会講演会
    - 「これからの教育を考える～教育改革と教師の在り方～」
    - 講師：宇都宮大学名誉教授 津布楽 喜代治 先生



- ③ 教育研究発表会(1月16日)
  - ・道徳教育に関する研究報告
  - ・校務の情報化に関する研究報告
  - ・小学校社会科副読本活用研究会の活動報告
  - ・内地留学報告(紙上発表 4名)
- (2) 専門研修 ☆新規
  - ① 学習指導主任研修
  - ② 教職2・3年目研修
  - ③ 初任者研修
  - ④ 理科教育研修
  - ⑤ 小中学校英語研修
  - ⑥ 道徳教育研修
  - ⑦ 食育担当者研修
  - ⑧ 児童・生徒指導研修

- ⑨ 特別支援教育研修
- ⑩ 通級指導教室担当者研修
- ⑪ 支援員(生活・図書・学級支援指導助手)研修
- ☆⑫ 教育相談員研修
- ⑬ 人権教育研修
- ⑭ 幼保小連携研修
- (3) 希望研修
  - ① 道徳教育実践研修
  - ☆② 教育相談研修
  - ③ 特別支援教育研修
  - ④ ふるさと学習現地研修
  - ☆⑤ ICT活用研修
  - ⑥ 学校生活支援研修
  - ☆⑦ 授業で使える英会話研修

### 3 相談事業

- (1) 教育相談
  - ① 学校への各種相談員の配置
  - ② 適応指導教室「スマイル教室」の運営
  - ③ 教育相談窓口の開設
- (2) 就学・特別支援教育相談
  - ① 就学・特別支援教育相談員の配置
  - ② 就学相談、特別支援教育相談窓口の開設
- (3) 学校教育サポートチーム
  - ① 学校だけでは解決困難な事案への対応

### 4 資料収集・広報

- (1) 研究所情報発信誌「KEYAKI」の発行
- (2) 研究所研究集録の発行
- (3) 適応指導教室要覧、パンフレットの作成
- (4) 特別支援教育パンフレットの作成・配付
- (5) 各種資料の収集・保管、貸出
- (6) けやきネットを活用した広報活動の充実
  - ・研究所HPの内容更新
  - ・グループウェア「WinBird」の効果的活用

## 平成25年度の事業

平成25年度は、下野市教育目標達成のために、教職員間、学校間、家庭・地域、関係機関等の様々なつながりをさらに強化し、「組織力」を生かした教育活動を進める。

特に、「学ぶ力を育む学習指導」と「豊かな心を育む教育の推進」を重点項目として、各種研究・研修を精選して重点的に実施する予定である。

また、相談事業を整理し、より機動的に対応できる体制づくりを行う予定である。



## 平成24年度の事業

### 1 調査研究部

#### (1) 学習診断検査結果の分析

市内小学4・5年生、中学2年生全員を対象に知能・学力・hyper-QU検査を実施。結果を分析・考察して報告書を作成すると共に、教科ごとの考察を「所員研究集録」にまとめ、市内小中学校全教員に配布した。

#### (2) 教科指導と評価に関する研究

算数・数学と英語の指導や評価に関する研究を行った。

### 2 教育相談部

不登校や問題行動等の未然防止に向けた学級集団づくりに教育相談の視点を当て、今年度はhyper-QU検査結果の活用を中心に研究を進めた。実践事例を「所員研究集録」にまとめ、市内小中学校全教員に配布した。また、不登校児対策検討委員会で不登校問題の解消を図るために話し合い、提言をまとめ、市内小中学校全教員に配布した。

### 3 研修部

#### (1) 教育課題研修（主なもの）

- ア 好ましい集団づくり
- イ hyper-QU検査の見方・活かし方
- ウ 小中一貫教育

#### (2) 指定研修（主なもの）

- ア 人権教育主任研修
- イ 英語指導者研修
- ウ 新規採用教職員研修
- エ 道徳教育研修
- オ 情報教育担当者研修

#### (3) 希望研修（主なもの）

- ア 人権教育（直接的指導）研修
- イ コンピュータ実技研修



「教育課題研修」  
早稲田大学教授  
河村茂雄 先生  
7/24

#### ウ 夜間希望自主研修「ナイトカレッジ」

研修の機会拡大と充実を図るため、夜間（18：30～20：00）、大学教授、文科省調査官等を講師に迎え、開催している。集団づくりや教育課程、特別支援教育、特別活動、道徳教育等のテーマで8回開催した。



文科省調査官 杉田 洋 先生 7/4



東京学芸大学教授 永田繁雄 先生 12/5

### 4 資料部

下記の各種研修資料等の作成に取り組む。

- (1) 「学習診断の報告」「人権教育研修用資料」「所員研究集録」「学校課題研究集録」「思川桜」「教育研修シリーズ」等の発行
- (2) webページ「小山こどもの森」での教育情報の提供とデータベース化

## 平成25年度の事業

「心の教育を基盤にした確かな学力の定着」を図るため、hyper-QU検査結果の活用のさらなる充実を目指して研修の充実を図っていく。また、新規事業「本場結城紬・渡良瀬遊水地学習カリキュラム開発事業」を通して、本市の教育資源の開発、指導法の研究を進めていく。





## 平成24年度の事業

栃木市教育研究所の目指す方向性は、「学び続ける教員」を支える研究所であることであり、以下の3つの機能を方針として掲げている。

- ・ 複雑化し深刻化している**教育問題を深く「考える」**機能
- ・ さまざまな教育課題に全力で立ち向かっている**先生方を「助ける」**機能
- ・ 先生方や保護者、その他の専門家が**「学びあえる」場を提供する**機能

### 1 調査研究に関する「考える」取組

- (1) 国際教育部会
  - ・ 外国語教育における、小・中連携を意識した授業実践による研究校の成果の自校化
  - ・ 実践授業のビデオリフレクションによる「学び合い」
- (2) 人権教育部会
  - ・ 小学校における同和問題にかかわる直接的指導の位置付けや学習活動の進め方資料などの紹介
  - ・ 同和問題に対する認識の刷新と授業への活用推進
- (3) 理数教育部会
  - ・ 新たな地域教材の開発や見直し
  - ・ 理科・算数数学科における小・中連携の在り方の模索
  - ・ 理科室経営上の課題に関する意識調査の実施と、課題解決へのヒントの提供
- (4) 情報教育部会
  - ・ ネットコモンズによる新ホームページへのスムーズな移行のためのコンテンツの検討と作成例の紹介
- (5) 指導力向上部会
  - ・ 学習指導主任研修会への参加による、各学校の研究についての情報収集
  - ・ 各校の課題研究会への参加や研究校訪問による研修と、その成果と課題の報告

- (6) ふるさと学習部会
  - ・ 「ふるさと学習」の教材となり得る地域素材の情報収集とその教材化
  - ・ 栃木市を流れる「巴波川」を教材とした総合的な学習の時間の実践例の紹介
- (7) 特別支援教育部会
  - ・ 特別な支援が必要な児童の、中1ギャップを軽減するための引継ぎの在り方についての情報収集
  - ・ 特別支援教育先進校の視察とその報告
- (8) 教育相談部会
  - ・ 臨床心理士による学校訪問や電話相談、来室相談の実施

### 2 教職員の研修を「助け、学び合う」取組

- (1) 土曜日や勤務時間外に行う希望研修
  - ① 「いきいき校内プロジェクト実践研修会」(年5回)
    - ・ 各自の学校教育実践をサポート
  - ② 「ビデオを使った授業リフレクションによる指導力向上セミナー」(年7回)
    - ・ 授業力の向上と同僚性の構築
  - ③ 特別支援教育「ゆっくり学習会」(年5回)
    - ・ 特別な支援を必要とする児童・生徒へのよりよい支援についての事例検討
  - ④ 「教育相談実践研修会」(年5回)
    - ・ 不登校児童生徒への具体的支援
- (2) 栃木市教育研究発表会
  - ・ 平成25年1月29日(火)
  - ・ 市内小・中・高・特別支援学校の参加
  - ・ 口頭発表6件・紙上発表8件
- (3) 「教育研究所シリーズ 第3集」の発行
  - ・ 各部会の活動や希望研修の成果をまとめた冊子を作成し、市内公立幼稚園・小・中学校と教育研究発表会参加者に配布

## 平成25年度の事業

各部会ごとに平成24年度の活動を振り返り、学校が抱えている教育課題への対応や本市の特色ある教育の在り方などについて、補充・深化させたり、一新したりするなどの活動内容を検討しながら、各部会の主体的な取組を尊重し、研究を進め、本市の教職員が自主的に「学びあえる」場を積極的に提供していきたい。



## 平成24年度の事業

### 1 調査研究事業

#### (1) 基礎学力向上委員会

国語、算数・数学、英語において、小中9年間の系統性と連続性のある基礎的・基本的な学習の定着度を図り、市独自のテスト「トライヤル」の結果分析により授業の在り方の調査研究を実施した。

#### (2) 第22回矢板市子ども環境会議

中学校区ごとに、中学生を中心に、市民団体の方々をアドバイザーに迎え話し合いを行った。平成25年度に向けて、小中合同での環境美化活動の計画を立てることができた。

### 2 研修事業

#### (1) 指導力向上研修会

宇都宮大学教授 松本 敏 先生をはじめ宇都宮大学の先生方を講師に招き、小中一貫教育、連携の在り方について授業づくりを中心に中学校区ごとの小中合同研修会を行った。

#### (2) 情報教育研修会

電子黒板・デジタル教科書をはじめとしたICT機器の効果的な活用について、授業実践・ICT機器の演習による小中合同研修会を行った。

#### (3) 特別支援教育研修会

幼保小中教員を対象に、山形大学教授 横山 浩之 先生を講師として迎え、個別支援への理解を深める講習会を行った。

#### (4) 市非常勤教育職員・学校講師研修会

市が採用した非常勤教育職員及び学校講師の資質の向上を目指し、学習指導の在り方、配慮を要する児童生徒への指導の在り方についてスクールカウンセラーによる研修を行った。

#### (5) 小学校外国語活動研修会

情報交換や模擬授業を行い、小学校の先生方の授業力向上のために研修会を実施した。

#### (6) 土曜学習講座

小学校3年生以上の希望者に月2回、宇都宮大学教育学部学生と市内高校生・中学生、教員OBがボランティア講師となり、学力向上に向けて学習支援を行った。

## 平成25年度の事業

### 1 調査研究事業

#### (1) 基礎学力向上に関する調査研究

国語、算数・数学、英語の授業における習得と活用についての調査研究

#### (2) 家庭学習・生活習慣等に関する調査研究

#### (3) 矢板市子ども環境会議

#### (4) 社会科副読本編集委員会

#### (5) 矢板市教育研究所だよりの発行

#### (6) ICT機器の有効活用に関する調査研究

### 2 研修事業

#### (1) 指導力向上研修会

宇都宮大学と連携し、教師の指導力向上を目指す授業研究研修

#### (2) 学級経営研修会(Q-Uテスト活用研修)

Q-Uテストの学級経営への活かし方・お互いに高め合う集団づくりを学ぶ研修

#### (3) 特別支援教育研修会

特別支援教育に興味を持つ教員と保護者を対象に専門家を講師に招いて行う研修

#### (4) 小学校外国語活動研修会

小学校教員の授業力向上と小学校外国語活動から中学校英語への円滑な接続を目的とした小中合同研修

#### (5) 児童指導主任・生徒指導主事合同研修会

各小・中学校の児童生徒指導担当の先生方が9年間の系統性のある指導への理解を深め、問題行動・不登校の減少を目指す。

#### (6) 市非常勤教育職員・学校講師研修会

講話と演習によるスキルアップを目的とした研修

#### (7) 漢検・数検・自主学習講座、子ども英会話講座(小学生) 自主学習講座(中学生)

### 3 教育相談事業

保護者や教職員がかかえる児童生徒等の諸問題に対し、電話や来所による援助や支援を行う。

## 平成 24 年度の事業

### 1 調査研究に関すること

#### (1) 教育の諸問題についての調査研究

下記のテーマで調査研究に取り組み、研究内容を紀要として CD-R 及び冊子にまとめ、市内全教員や関係諸機関等に配布

- ① 学習指導調査研究委員会  
「学びの連続性を意識した  
学習指導の推進」  
～学習習慣づくりを通して～  
～小学校外国語活動と  
中学校外国語の連続性を意識して～
- ② 教育の情報化調査研究委員会  
「市内小中学校における  
教育の情報化の推進」
- ③ 特別支援教育調査研究委員会  
「小中の連携を図った  
特別支援教育の推進」

#### (2) 諸検査の実施

知能検査、総合学力調査の実施

#### (3) ICT活用研究推進校指定

佐野市立界小学校に調査研究を委嘱

### 2 教育相談に関すること

当教育センター所員による来所及び電話での随時相談と、専門の教育相談員(医師2名、幼稚園園長1名、小学校教員4名、中学校教員1名)による教育相談を実施

臨床心理士による学校への巡回相談、カウンセリングを実施

### 3 教育振興に関すること

#### (1) 教育講演会

「『震度7』の叫びに対応する  
危機意識と防災教育」  
学校防災アドバイザー 桑原 昭先生

#### (2) ICT活用学習指導研修会(3回)

- ① 市安全共有システム運用研修(1回)  
学校 Web サイトやメール配信システムを効果的に運用することを目的とし、システムの特徴や Web 活用上の留意点について研修を実施し、適切な管理・運用が

できる教員の育成を目指した。

#### ② 教育用ソフトウェア等活用研修

マルチメディア教材の作成や電子黒板の活用法を学び、学習指導に積極的に ICT を活用しようとする教員の育成を目指した。

#### (3) 学校教育相談研修会(2回)

市内小・中教職員を対象に学校教育相談活動に意欲的に取り組む教員の育成を図った。

#### (4) パワーアップ研修講座(6回)

希望者を募り、平日(夜間)に「情報モラル」、「プレゼンテーションソフトの活用」、「動画編集」についての研修を行った。

#### (5) 特別支援教育研修会(1回)

対象：市内小・中教職員等  
講師を招聘し、発達障害のある子どもへの支援についての講話及び演習を行った。

#### (6) さわやか指導員の配置

- ① さわやか教育指導員64名配置
- ② さわやか健康指導員8名配置

#### (7) 心の教室相談員の活用

スクールカウンセラー未配置中学校等4校に配置

#### (8) 情報教育アドバイザーの活用

教育センターに3名配置

#### (9) スクールング・サポート・ネットワーク(SSN)事業

教育センターに不登校児童生徒及び特別な教育的支援を必要とする児童生徒対応指導員を各1名配置

#### (10) 特別支援学級支援員の配置

新設の特別支援学級等に支援員8名を配置

#### (11) スクールカウンセラーの活用

#### (12) 子どもと親の相談員の活用

## 平成 25 年度の事業

平成 25 年度においても、基本的には同様の事業を実施していく予定である。